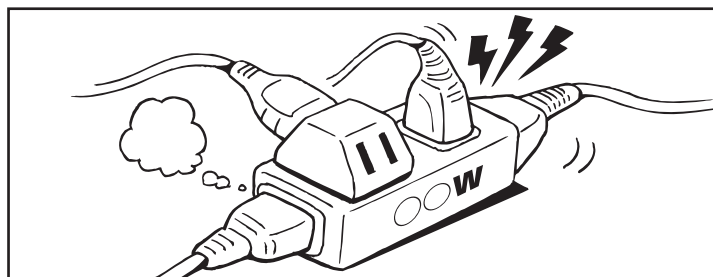




コンセントの取り扱い注意事項

1/2

※以下の事項を必ずお守りください。守らないで破損や事故を招いたり、けがを負った場合、当社は一切の責任を負いかねます。



注意1

- コンセントに表示されたワット数以下でお使いください。
- タコ足配線はしないでください。

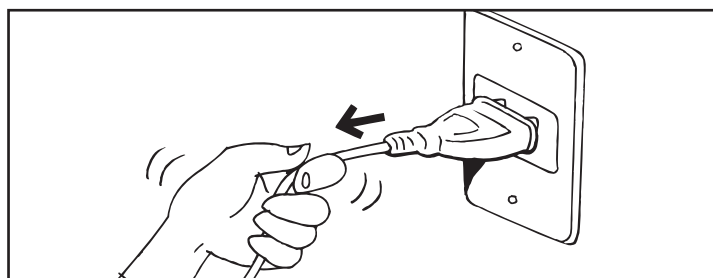
→焼損のおそれがあり、火災の原因となります。



注意2

- 水のかかるところで使用しないでください。
- 濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。

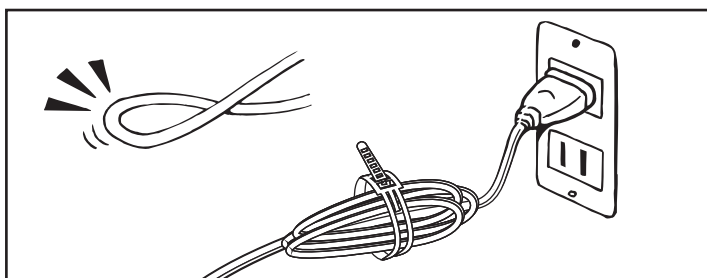
→感電・火災の原因となります。



注意3

- コードを引っ張らないでください。
- 必ずプラグを持って抜き差ししてください。

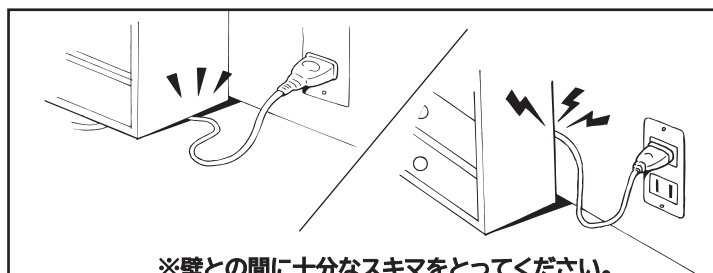
→断線して火災の原因となります。



注意4

- コードを無理に曲げたり、ねじったりしないでください。
- コードを束ねたまま使用しないでください。

→断線、発熱などして火災の原因となります。

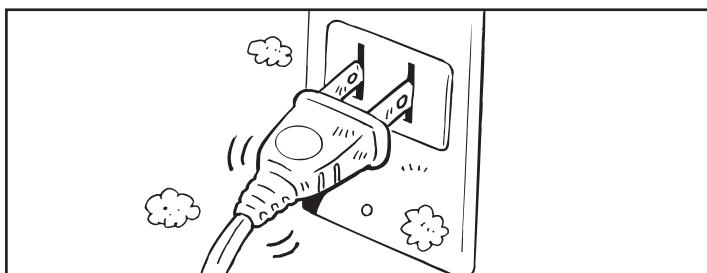


※壁との間に十分なスキマをとってください。

注意5

- コードを家具や壁、戸で押し付けたり、挟むような設置をしないでください。また、敷物の下にして使用しないでください。

→発熱して火災の原因となります。



注意6

- プラグが汚れたものや、曲がったものは使用しないでください。
- プラグは確実に差し込んでください。

→発煙・発火・火災の原因となります。

- 温度や湿度の高いところでは使用しないでください。
- 洗剤や殺虫剤をかけないでください。
- 電源プラグは定期的に点検し、お手入れは必ずプラグを抜き、乾いた布などでほこりや汚れを取り除いてください。
- 旅行などで長期に家を空ける際は、必ず家電製品のプラグをコンセントから抜いてください。
- コンセント部分を分解したり、改造したりしないでください。
- 取り扱いには十分に注意してご使用ください。

- 使用中焦げ臭いニオイがしたり煙が発生した場合は、直ちに家電製品の電源を切り、プラグをコンセントから抜いて使用を中止してください。
- また、
 - コンセントやコード・プラグの材質の溶けや焦げ、割れなどが見られた場合
 - コンセントやコード・プラグに通常とは違う熱さ(温度)を感じた場合
 - コードを動かすと使用中の家電製品がついたり消えたりする場合
 - コンセントや家電製品のプラグが使用開始時に比べ、差し込み固さが明らかに緩くなってしまった場合
 などの症状が出た場合も、使用を中止してください。
- 上記の症状が見られる場合は、発煙・発火・火災の原因になります。

※USB機能付き製品と電灯付き家具は、裏面の注意事項もご確認ください。